



留学だより vol.4



あけましておめでとうございます。カナダのブリティッシュコロンビア（BC）州に留学中の16期糠谷です。2025年になりましたね。皆さんはどのような年越しを過ごしましたか？今回の留学だよりではクリスマスとウィンターブレイクについて主にご紹介したいと思います。

12月の街並み

12月に入ると、街全体がクリスマスモード一色になっていきました。家々の外壁には色とりどりのイルミネーションが飾られ、夜になると町全体が光に包まれます。近所を散歩していると、窓越しに見えるクリスマスツリーや、庭に置かれた大きなサンタクロースの人形など、様々なデコレーションを楽しむことができました。

ショッピングモールでは、天井まで届く大きなクリスマスツリーが設置されていました。週末はクリスマスプレゼントを買いに来る人たちでにぎわっていました。日本でも確かにクリスマスは祝いますが、こちらではより本格的で、街全体がクリスマスモードに包まれているのが印象的でした。



私の家はこんな感じに飾られました！ホストシスターと一緒に飾りつけをしてとても楽しかったです。

Merry Christmas!!



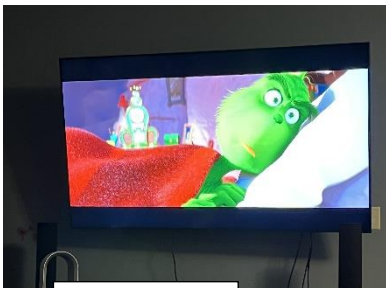
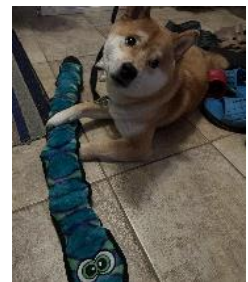
ついに待ちに待ったクリスマスがやってきました。北米では家族全員にクリスマスプレゼントを交換する文化があるので私も12月になると家族に向けてクリスマスプレゼントを用意しはじめました。また、12月1日からクリスマスまでのカウントダウンが始まり、ホストペアレンツからアドベンチャーカレンダーをもらいました。毎日その日付の数字が書かれた扉を開けてチョコレートを取るのですが、クリスマスが近づくにつれてチョコレートの種類や大きさが変わって面白かったです。クリスマスの一週間ほど前からはツリーの下に少しずつプレゼントがおかれ、だんだんとクリスマスが近づくのを実感しました。



た。クリスマスの数日前にホストマザーの弟家族が来て、一緒に過ごしました。ジンジャーブレッドクッキーを作ったり、アイススケートやボーリングをしに行ったりと一日中遊びました。クリスマスイブにはみんながクリスマスディナーとしてターキーやマッシュポテトを食べました。

クリスマスイブの夜に子どもたちがサンタさんへの贈り物を用意していました。何をを用意するのか見ているとマグカップ一杯のミルクと生のニンジン、手作りのクッキーに For Santa というメッセージを添えたかわいらしい贈り物でした。ミルクや生のニンジンを用意しているところに北米らしさを感じますね（笑）。

クリスマスの朝はサンタがプレゼントを用意するのに時間がかかるから8時半まで起きてこないでねと言われていたので、思ったよりも遅い起床になりました。8時半になりみんなでリビングに行くとツリーの周りごとてつもない量のプレゼントでうめつくされていました。100を超える数のプレゼントが用意されており、みんな自分あてのプレゼントを探して開封作業が始まりました。私もホストファミリーからたくさんのプレゼントをもらいました。もちろん愛犬にもプレゼントがあって大好きなおもちゃをもらって喜ぶ犬がとてもかわいかったです！日本にいたときはこんなにたくさんのクリスマスプレゼントをもらったことがなかったので規模の大きさを実感しました。私からのプレゼントもすごく喜んでもらえてうれしかったです。



GRINCH

クリスマス当日もショッピングに出かけたり、クリスマスディナーを食べたり、ホストブラザーの誕生日を祝ったりと盛りだくさんな一日でした。夜にはみんなで映画鑑賞をしました。クリスマスの映画といえばグリーンチですね！ちなみに私はグリーンチの映画を始めて見たのですがこちらではとても有名なキャラクターのようです。あっという間にクリスマスが終わってしまいました。初めての海外でのクリスマスは一番の思い出になりました。

スキー旅行と New Year

クリスマスが終わり、12月27日から9泊10日のスキー旅行に行きました。宿泊日数の長さにとっても驚きますが、私のホストファミリーはスキー場にセカンドハウスを持っているので、残りのウィンターブレイクはその家で過ごしました。ナナイモの家から車で2時間ほどかけてマウントワシントンという山に行きました。すでに白一色の雪景色で、バンクーバー島各地から多くの人がスキーをするために訪れていました。リフトで山の上まで上がり、下ってくる



のですがコースが多すぎて地図を持っていないと迷ってしまいます。私は比較的緩やかな easy コースを選んで滑っていました。easy コースと呼ばれていますが急な場所が何か所もあって本当に



easy コースなのかと疑ってしまいます。ウィンタースポーツがさかんな国であるだけにスキーのレベルがとても高いです。みんなスキルがとても高く、小学生ぐらいの子どもたちも大人顔負けのうまさです。ホストシスターとブラザーも私より格段とうまく、上級者コースを滑っていました。私もスキーシーズンが終わる頃には今よりも難しめのコースを滑れるようになっていたいです。

9泊10日の滞在だったのでもちろん年越しもマウントワシントンで過ごしました。ニューイヤーイブに知り合いの家で夕食を一緒に食べ、夜9時ごろから始まる花火を見に行きました。霧

深くて見えにくかったのですがとても盛り上がり楽しかったです。

花火の後にはまた別の家族と合流し、彼らの家で年越しを待ちました。11時45分ごろからカウントダウンが始まり、テレビの生中継を見ながらみんなでカウントしました。年越しの瞬間はニューイヤーラッカーを鳴らし、大騒ぎでした。

年越しは海外っぽく盛り上がりましたが、翌日の1月1日は思ったよりも普通の日で新年を迎えた感じはなかったです。日本のお正月が恋しくなりました。

クリスマスイベント

ウィンターブレイク前最後の日に学校でクリスマスイベントがありました。全学年の生徒が一つの体育館に集まりクリスマスイベントに参加しました。ジンジャーブレッドでできたお菓子のハウスの早食い対決や先生たちによる変装ダンス、椅子取りゲームなど様々なゲームを通して盛り上がりました。ゲームとゲームの間には客席に向けてキャンディケーン投げが行われ、私も





複数ゲットしました。とにかく生徒数が多いのでとても盛り上がり、楽しかったです。

もう1つクリスマスのイベントとしてクリスマス仕様になった水泳大会に何度か出場しました。大会の参加賞としてクリスマスクラッカーをもらったり、サンタやグリンチの格好をしている人がいたり、子どもたちは Ugly



Christmas Sweater を着て大会会場に来ていました。また、こちらの大会では開会の前にチームごとに披露する Cheer off という応援の掛け声をするのですがこれもクリスマスによせてサンタを歌詞に登場させたりしました。水泳大会1つにしてもこんなにクリ

スマスムードになっていたことにびっくりしました。また、水泳クラブの仲間とは Secret Santa というプレゼント交換をしました。これは、みんなの名前を紙に書いて帽子の中に入れ、それぞれがランダムに1つ引き、その人へのプレゼントを用意するというものです。誰が誰にプレゼントを渡すのかは、実際にプレゼントを交換するまで秘密。私は14歳の女の子の名前を引きました。プレゼント交換当日、みんな順番に自分へのプレゼントを開け、誰からのプレゼントなのかを当ててのですが、私からのプレゼントを受け取った子はすごく喜んでくれて本当にうれしかったです。私もチームメイトからの素敵なプレゼントをもらい、このイベントを通じてチームメイトとの絆がさらに深まった気がしました。

最後に

2024年もあっという間に終わってしまいました。振り返ってみると、個人的に去年は大きな挑戦をした、私にとって特別な一年でした。留学が始まってからの4か月は長くもあり短かったです。毎日が忙しくもあり新鮮で、学校、スポーツ、旅行、イベントを通して本当にいろんな人に出会いました。思いがけないアクシデントがあったりもしましたが、そのたびにホストファミリーや友人たちに支えられ、一つ一つ乗り越えることができました。留学生活もあと少しで残り半分、これまでの経験を活かしながら、これからの新しい出会いや挑戦も大切にしていきたいと思います。積極的に周りの人々と関わり、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

2025年の私の留学生活も、引き続き温かく見守っていただけると嬉しいです！ではまた！